

令和元年度
瑞浪市教育委員会
点検評価報告書
(平成 30 年度事業)

令和元年7月
瑞浪市教育委員会

目 次



1	点検評価の概要	・ ・ ・	1
2	教育委員会の活動状況	・ ・ ・	2
3	平成 30 年度各課等の方針と重点	・ ・ ・	6
4	令和元年度（平成 30 年度事業）評価一覧	・ ・ ・	9
5	各課の事業評価		
	① 教育総務課	・ ・ ・	11
	② 学校統合推進室	・ ・ ・	15
	③ 学校教育課	・ ・ ・	18
	④ 学校給食センター	・ ・ ・	27
	⑤ 社会教育課	・ ・ ・	31
	⑥ スポーツ文化課（文化振興）	・ ・ ・	40
	〃 （スポーツ推進）	・ ・ ・	47
6	教育委員会点検評価委員会のまとめ	・ ・ ・	49

1 点検評価の概要

【はじめに】

平成 19 年の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正において、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することが義務づけられました。

これは、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていく趣旨によるものです。

また、点検評価を行うに当たっては、教育に関し、学識経験者を有するものの知見の活用を図ることとされており、点検・評価の客観性を確保することが求められております。

本市では、瑞浪市教育委員会点検評価委員会規則、瑞浪市教育委員会点検評価実施要領により、平成 20 年度より瑞浪市点検評価報告書を作成し報告しております。

【参 考】

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

○瑞浪市教育委員会点検評価実施要領（抜粋）

（評価事項）

第 3 条 教育委員会は、前年度の教育委員会の取組について、次の各号に掲げる内容の点検評価を実施する。

（1）事務事業の執行状況、教育委員会の基本方針に掲げる主要施策の執行状況及びその成果

（2）前年度の点検評価結果への対応状況

2 前項の点検評価においては、次の表により達成度の総合評価を行う。

区分	達成度
A	順調に達成している
B	おおむね順調に達成している
C	達成見込みであるが課題がある
D	順調でない

2 教育委員会の活動状況



地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正する法律が、平成 27 年 4 月 1 日から施行され、新しい教育委員会制度がスタートしました。

瑞浪市においては、平成 28 年 10 月 1 日に新教育長が就任したことにより、教育行政の責任体制が明確化し、新しい『教育委員会制度』へ完全移行いたしました。

本年度の教育委員会は、定例会を 12 回、臨時会を 3 回開催し、議案 60 件、承認案件 2 件について厳正な審議を行いました。定例会・臨時会後に開催される委員会協議会では、委員からの情報提供や、事務局からの事業の進捗や関連事項の報告について、活発な意見交換が行われました。

主な活動状況として、教育関係のイベントや式典、東濃西部教育委員研修協議会などに参加しました。また、研究発表校に指定された稲津小学校、瑞陵中学校をはじめとする学校の訪問を行い、学校教育の現状を確認しました。

中学校統合に関しては、瑞浪市北部地域中学校統合準備委員会に参加し、進捗状況や委員の意向を把握し、教育委員会として提言を行いました。3 月には、日吉中、瑞陵中、釜戸中の閉校式に出席しました。

教育功労者表彰（11 月 12 日）については、瑞浪市教育委員会表彰規則に基づき、教育・学術及び文化の振興発展に貢献のあった教育関係職員 3 人、児童・生徒 6 人と 1 団体、一般 4 人の表彰を行いました。

なお、教育委員会で審議された案件は次ページのとおりです。

【教育委員会名簿】

平成 31 年 3 月 31 日現在

職 名	氏 名	任期満了日	備 考
教育長	ひらばやし 平 林 みちひろ 道 博	令和元年 9 月 30 日	
委 員	しばた 柴 田 ようこ 洋 子	令和 2 年 9 月 30 日	教育長職務代理者
委 員	かとう 加 藤 ひろゆき 博 之	令和 3 年 9 月 30 日	
委 員	かに 可 児 けいた 恵 太	令和 4 年 9 月 30 日	
委 員	やまだ 山 田 ゆきお 幸 男	令和元年 9 月 30 日	

【平成30年度 教育委員会審議案件等一覧】

回	議案番号	件 名	開催日
5	承第 1 号	専決処分の承認について	平成30年 4月26日
	議第26号	瑞浪市教育委員会点検評価委員の委嘱について	
	議第27号	瑞浪市図書館協議会委員の委嘱について	
	議第28号	瑞浪市学校給食センター運営委員の委嘱について	
	議第29号	平成30年度学校評議員の委嘱について	
	議第30号	平成30年度教科用図書東濃採択地区協議会の設置について	
	議第31号	平成30年度教科用図書東濃採択地区協議会委員の選出及び研究員の委嘱について	
	議第32号	平成30年度瑞浪市教育研究所学校所員の委嘱について	
6	議第33号	瑞浪市化石博物館の特別に休館する日について	5月24日
	議第34号	瑞浪市生涯学習推進懇談会要綱の廃止について	
	議第35号	瑞浪市民図書館の開館時間の延長について	
	議第36号	職場環境を悪化させる行為の防止及び対応に関する指針及び運用要領について	
	議第37号	平成30年度瑞浪市教育費にかかる6月補正予算(第2号)について	
7	承第 2 号	専決処分の承認について	6月22日
8	議第38号	瑞浪市市之瀬廣太記念美術館の特別に休館する日について	7月26日
	議第39号	平成30年度瑞浪市教育委員会点検評価報告書(平成29年度事業)について	
	議第40号	平成31年度使用小・中学校用教科用図書の採択について	
9	議第41号	平成30年度瑞浪市教育費にかかる9月補正予算について	8月23日
	議第42号	瑞浪市における「クラブ活動」のガイドラインについて	
10	議第43号	平成30年度瑞浪市教育功労者の選定について	9月26日
11 (臨時会)		教育長職務代理者の指名、委員の議席番号の決定	10月1日
12	議第44号	瑞浪市公民館の設置及び管理に関する条例及び瑞浪北部多目的研修集会施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	10月25日

1 2	議第 4 5 号	瑞浪市民体育館の設置及び管理に関する条例及び瑞浪市日吉スポーツ施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	10 月 25 日
	議第 4 6 号	瑞浪市民弓道場の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する教育委員会規則の制定について	
	議第 4 7 号	瑞浪市教育振興基本計画推進委員の委嘱について	
1 3	議第 4 8 号	指定管理者の指定について（日吉公民館及び瑞浪北部多目的研修集会施設）	11 月 22 日
	議第 4 9 号	指定管理者の指定について（稲津公民館）	
	議第 5 0 号	瑞浪市小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について	
	議第 5 1 号	瑞浪市立小中学校事務共同実施要綱の制定について	
	議第 5 2 号	瑞浪市立中学校運動部活動方針について	
	議第 5 3 号	平成 3 0 年度瑞浪市教育費にかかる 1 2 月補正予算について	
1 4 (臨時会)	議第 5 4 号	「瑞浪市教育振興基本計画 みずなみ教育プラン・後期計画」の策定について	12 月 4 日
1 5	議第 5 5 号	平成 3 0 年度末瑞浪市教職員定期人事異動方針について	12 月 20 日
1	議第 1 号	瑞浪市学校給食センター設置条例の一部を改正する条例の制定について	平成 31 年 1 月 24 日
	議第 2 号	瑞浪市総合文化センター条例施行規則を廃止する教育委員会規則の制定について	
2	議第 3 号	平成 3 0 年度瑞浪市教育費にかかる 3 月補正予算(第 6 号)について	2 月 14 日
	議第 4 号	平成 3 1 年度瑞浪市教育費にかかる予算について	
	議第 5 号	財産の取得について	
	議第 6 号	平成 3 1 年度の瑞浪市の教育の方針と重点について	
	議第 7 号	「瑞浪市教育振興基本計画 みずなみ教育プラン・後期計画」の策定について	
	議第 8 号	瑞浪市陶公民館の特別に開館する日の承認について	
	議第 9 号	瑞浪市稲津公民館の特別に開館する日の承認について	
	議第 1 0 号	瑞浪市日吉公民館の特別に開館する日の承認について	
	議第 1 1 号	瑞浪市釜戸公民館の特別に開館する日及び特別に休館する日の承認について	
	議第 1 2 号	瑞浪市大湫公民館の特別に開館する日の承認について	
	議第 1 3 号	瑞浪市民図書館の特別に開館する日及び特別に休館する日並びに特別に延長する開館時間の承認について	
	議第 1 4 号	瑞浪市化石博物館の特別に開館する日について	

2	議第15号	瑞浪市市之瀬廣太記念美術館の特別に開館する日について	2月14日
	議第16号	瑞浪市地球回廊の特別に開館する日について	
	議第17号	瑞浪市陶磁資料館の特別に開館する日について	
	議第18号	瑞浪市民体育館の特別に休館する日について	
	議第19号	瑞浪市日吉スポーツ施設の特別に休館する日について	
	議第20号	瑞浪市都市公園有料公園施設の特別に休館する日について	
	議第21号	瑞浪市化石博物館の特別に休館する日について	
	議第22号	瑞浪市市之瀬廣太記念美術館の特別に休館する日について	
	議第23号	瑞浪市地球回廊の特別に休館する日について	
	議第24号	瑞浪市陶磁資料館の特別に休館する日について	
3 (臨時会)	議第25号	人事異動の概要及び異動について	3月5日
4	議第26号	瑞浪市立小学校及び中学校の施設の開放に関する規則の一部を改正する教育委員会規則の制定について	3月20日
	議第27号	瑞浪市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する教育委員会規則の制定について	
	議第28号	瑞浪市立中学校統合準備委員会規則を廃止する教育委員会規則の制定について	
	議第29号	瑞浪市指定文化財の指定について	
	議第30号	瑞浪市文化財審議会委員の委嘱について	

※提案された案件については、全て可決又は承認されました。

3 平成30年度各課等の方針と重点（年度当初策定）

教育委員会では、毎年、それぞれの部署が取組の基本方針である「方針と重点」を策定（Plan 計画）し、それに基づき事業を実施（Do 実行）します。そして、翌年度に事業の実施状況を点検評価（Check 評価→Action 改善）することで、教育行政の充実に努めています。

◇教育総務課	
方針	教育委員会の円滑な運営と学校施設環境の整備・充実
重点Ⅰ	教育委員会の円滑な運営
施策	(1)教育委員会会議の審議がより深まるように協議会を開催し、中・長期的な課題の協議や報告、情報交流などを行う。 (2)教育委員の資質向上のため、研修会等（市町村教育委員会連合会研究総会、東濃西部教育委員研修協議会など）への参加の機会を確保する。また、市の教育課題に即した行政視察を行い、視察成果を教育施策に反映するよう努める。 (3)学校行事や教育長学校訪問などに参加し、教育現場の状況把握に努める。
重点Ⅱ	学校施設環境の整備・充実
施策	(1)明世小学校の児童増加に対応するために普通教室棟を整備する。 (2)平成31年4月（瑞浪北中学校の統合後）以降に日吉中学校を小学校に転用するために改修事業を行う。 (3)学校施設環境の計画的な点検・整備に努める。 (4)市公共施設総合管理計画の「個別施設計画（市立小中学校）」に基づき、老朽化した学校施設の大規模改修計画（案）の作成。
重点Ⅲ	瑞浪市教育振興基本計画（みずなみ教育プラン）の中間見直し
施策	(1)瑞浪市教育振興基本計画（みずなみ教育プラン）の中間見直しを行う。

◇学校統合推進室	
方針	健全な教育環境の整備
重点Ⅰ	中学校の統合再編の推進
施策	(1)中学校統合準備委員会の円滑な運営を図る。 (2)統合新校の開校準備を進める。 (3)安心・安全な教育環境の充実に努める。

◇学校教育課	
方針	たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進
重点Ⅰ	確かな学力の育成
施策	(1)児童生徒の学力分析をもとに指導改善を図り、学力向上につながる取組を推進する。 (2)コミュニケーション能力の育成を意識した取組を推進するために、小学校外国語活動・英語教育の充実に向けて支援する。 (3)児童生徒の心の豊かさをはぐくむ読書活動を支援する。 (4)ICT教育の推進に向けて支援する。
重点Ⅱ	「働き方改革」の推進
施策	(1)教職員の時間外勤務を正確に把握する。 (2)教職員に月80時間を超える時間外勤務をさせない。
重点Ⅲ	幼稚園・学校の教職員の資質向上
施策	(1)教師の豊かな教育実践の推進に向けて指導する。 (2)教科指導力の向上及び今日的課題の克服に向けた研修の実施及び研修の充実に向けて支援する。 (3)指導改善を視野に入れた授業をもとに、授業分析の手法を用いて授業を創造する力を高める。
重点Ⅳ	子どもの心と生活の安定を目指す生徒指導の推進
施策	(1)子ども理解を深め、学級経営力を向上させるために支援する。 (2)学校生活を楽しく充実したものにするために、いじめの未然防止・早期発見・早期解決に向けて支援する。 (3)不登校児童生徒の心の安定を図り、学校復帰に向けて支援する。 (4)命を大切にし、自己を見つめる力と他を思いやる心を育てる道徳教育を推進する。
重点Ⅴ	一人一人の教育的ニーズに応じた支援の充実

施策	(1)学校生活を楽しく充実したものにするために、要援助児童生徒の教育的ニーズに応じて支援する。 (2)言語・発達通級指導を望む児童生徒及び保護者のための通級指導教室の運営を支援する。 (3)児童及び保護者が小学校生活を安心して過ごすために、幼稚園と小学校との連携を支援する。 (4)幼保一体化における就学前教育の理解を推進する。
重点Ⅵ	中学校の統合準備
施策	(1)瑞浪北中学校区における小学校間・中学校間の交流を行う。 (2)瑞浪北中学校の開校に向けた諸事務を推進する。

◇学校給食センター

方針	安全で、栄養バランスのとれた、おいしい給食の提供
重点Ⅰ	衛生管理の徹底
施策	(1)「学校給食衛生管理の基準」及び「大量調理施設衛生管理マニュアル」に基づいた調理を行い、衛生管理の徹底を図る。 (2)ノロウイルスによる食中毒の発生予防のため、手洗いと消毒の徹底を図る。 (3)衛生管理に関する職員の研修会を年2回実施する。 (4)異物混入の防止を徹底するとともに、異物混入時対応を迅速かつ適切に行う。
重点Ⅱ	給食の安定的な供給
施策	(1)給食を確実・安全に配送するため、配送業務を専門業者に委託する。 (2)調理業務、食器・食缶洗浄業務を民間委託する中で、給食に支障が出ないよう事前に綿密な打ち合わせを行う。
重点Ⅲ	施設・設備の整備
施策	(1)夏休み期間に調理場等の点検を行う。 (2)改築20年目を目途に、施設設備全体の改修を効率的に行うため、現状を調査し、施設設備の中長期計画を策定する。
重点Ⅳ	安心で、美味しい給食の提供
施策	(1)季節感のある給食、日本の食文化を大切に給食、美味しい給食の調理を心掛ける。 (2)地元農産物をできるだけ使用できるよう努め、生産者の顔が見える安心な給食の提供に努める。 (3)地元農産物、地元農家等への理解を深めるため、「ふれあい給食」を実施する。 (4)学校医、養護教諭、給食主任と連携し、医師による「食物アレルギー調査票」を保護者から提出してもらい、食物アレルギーへの対応に努める。
重点Ⅴ	食に関する指導の充実
施策	(1)望ましい食習慣や食事のマナーなどを身に付けさせる。 (2)食育の推進を図るため、栄養教諭等の学校訪問の回数と質を充実する。

◇社会教育課

方針①	ともに学び、成長し、高めあえる社会教育の推進
重点Ⅰ	多様な世代に対応した生涯学習の内容の充実
施策	(1)各公民館の事業について、幅広い市民ニーズを満たすことができるよう、公民館間の情報共有を図る。 (2)「生涯学習ガイドブック」等の充実を図り、市民の学習機会に関する情報提供を行う。
重点Ⅱ	地域での子育てに係る学習環境の整備
施策	(1)各公民館で開催する家庭教育学級に対するニーズ把握を行い、内容の充実にも努めるとともに、開催案内等幅広い情報提供に努め、多くの保護者に対し学習機会を提供する。 (2)青少年育成市民会議の組織及び内容を見直し、より実効性の高い会議とする。
重点Ⅲ	高齢者の活躍の場づくり
施策	(1)各公民館が開催する高齢者学級(寿大学等)の活発な活動を促進するため、各公民館間において情報共有を図り内容の充実を図るとともに、事業の共同開催等について検討を行う。 (2)小中幼保、PTA、子ども会等と連携を図り、地域の高齢者と子どもの交流を図る事業を推進する。
重点Ⅳ	公民館・図書館等による人材発掘と育成
施策	(1)各公民館において高いスキルを持つシニア世代の人材情報を共有し、公民館事業等における指導者、ボランティアとなる機会を創出する。
方針②	郷土愛を育む文化・芸術の振興
重点Ⅰ	市民が歴史・文化・芸術に触れる機会の充実
施策	(1)中央公民館において、市民参加型事業、ホワイエコンサート等を開催し、市民の文化芸術に対する関心を高めるとともに、創造意欲の向上を図る。 (2)文化協会をはじめとした利用団体の活動発表機会を提供し、市民の文化芸術活動を支援するとともに、気軽に文化芸術に親しめる環境を整備する。

重点Ⅱ	後継者育成、文化芸術活動団体の支援
施策	(1)市文化協会等の文化芸術団体に対する補助制度を活用し、各団体の活性化を促進する。
方針③	子どもの成長支援のための幼児園・学校、家庭、地域の連携強化
重点Ⅰ	連携による家庭の教育力の向上
施策	(1)公民館で開催する家庭教育学級や親子向け公民館講座等の開催について、幼児園・学校およびPTA連合会等と緊密な連携を図ることにより、参加者の増加に努め、家庭における教育力の向上を目指す。 (2)市民図書館と小中学校が連携を図り、ブックトーク事業等を充実させることによって家庭における子どもの読書活動の推進を図る。
重点Ⅱ	連携による地域の教育力の向上
施策	(1)子どもの学習・発表の場の機会の充実と、大人が子どもの考えを知る機会の提供のため、主張大会を継続的に開催する。 (2)青少年育成市民会議の活動を推進するため、組織、事業等の見直しを行い、実効性の高い会議とする。 (3)公民館の子ども向け講座や子ども会活動により、子どもたちの休日の居場所づくりを進める。 (4)新成人に自覚と郷土への愛着をもたせるため、地域の優れた人材と団体の協力を得て、実行委員による手づくりの成人式を開催する。

◇ スポーツ文化課（文化振興）	
方針	郷土愛を育む文化・芸術の振興
重点Ⅰ	まちぐるみで守る文化財とその活用
施策	(1)文化財の調査・保存に努めるとともに、文化財の維持管理と活用を図ります。
重点Ⅱ	市民が歴史・文化・芸術に触れる機会の充実
施策	(1)市内の文化財や歴史的財産等に触れる機会を設けます。 (2)親しみやすい文化施設を目指し、充実した普及事業を展開します。
重点Ⅲ	文化施設の充実
施策	(1)収蔵資料の充実、調査研究を行い、魅力ある展示等事業を展開します。 (2)所蔵資料の充実を図るとともに、専門的な調査・研究を継続する。 (3)文化施設の再編計画を進めながら、来館者に対する観覧環境整備に努めます。
重点Ⅳ	後継者育成、文化芸術活動団体の支援
施策	(1)地域の伝統文化や伝統行事を未来に継承するため、各関係団体に支援を行う。

◇ スポーツ文化課（スポーツ振興）	
方針	誰もが気軽にスポーツに親しめる生涯スポーツの推進
重点Ⅰ	スポーツの場の充実
施策	(1)スポーツ施設の運営方法等を検討し、利用者環境の向上を図る。 (2)スポーツ施設・器具の点検を行い、安全・快適な利用者環境を整える。 (3)市内公立小中学校と連携を図り、体育館の一般開放を推進する。 (4)スポーツの競技力向上を目指し、スポーツ振興を推進する。
重点Ⅱ	スポーツの機会の充実と魅力の発信
施策	(1)市民にスポーツの楽しさと技術を伝える機会を設ける。 (2)スポーツに関するイベント等の情報を提供する。
重点Ⅲ	スポーツ推進委員の活用
施策	(1)スポーツ推進委員の活動を促進し、地域スポーツの推進を図る。
重点Ⅳ	体育協会・スポーツ少年団、クラブとの連携
施策	(1)各スポーツ団体との連携を図り、スポーツの推進を図る。

4 令和元年度（平成 30 年度事業）評価一覧

連番	担当課	新規事業	整理No.	事業名	評価	ページ
1	教育総務課		1	教育委員会事務経費	A	11
2		★	2	瑞浪市教育振興基本計画策定事業	A	12
3		★	3	明世小学校教室棟整備事業	A	13
4		★	4	日吉中学校転用改修事業	A	14
5	(学校統合推進室)		1	学校統合推進事業	A	15
6		★	2	中学校開校準備事業	A	16
7			3	瑞浪市北中学校施設整備事業	A	17
8	学校教育課		1	ALT派遣事業	A	18
9			2	教育研修経費	A	19
10			3	幼稚園・小学校・中学校課題指定園・校経費	A	20
11			4	教育支援センター運営経費	A	21
12			5	児童生徒学業支援員派遣事業	A	22
13			6	キャリア教育推進事業	A	23
14			7	教育研究所運営経費	A	24
15		★	8	ICT教育推進事業(小学校タブレットPC購入事業・中学校タブレットPC購入事業)	A	25
16		★	9	「働き方改革」推進事業	A	26
17	学校給食センター		1	学校給食配送委託事業	A	27
18			2	学校給食調理等委託事業	A	28
19		★	3	学校給食施設等改修事業	A	29
20			4	ふれあい給食事業	A	30
21	社会教育課		1	瑞浪市主張大会開催事業	A	32
22			2	生涯学習推進事業	A	33
23			3	青少年育成推進事業	A	34
24			4	成人式開催経費	A	35
25			5	中央公民館講座等開催経費	B	36
26			6	美術展開催事業	B	37
27			7	中央公民館自主事業	A	38
28		★	8	地区公民館運営経費	A	39

連番	担 当 課	新規事業	整理 No.	事 業 名	評価	ページ
29	スポーツ文化課		1	埋蔵文化財発掘等調査事業	A	40
30			2	保存資料等刊行事業	A	41
31			3	(化石博物館)定期研究報告発行事業	A	42
32			4	化石博物館定期展示会開催事業	A	43
33			5	(市之瀬廣太記念美術館)定期展示会開催事業	A	44
34			6	(陶磁資料館)定期展示会開催事業	A	45
35			7	(陶磁資料館)定期刊行物発行経費	A	46
36			8	トップアスリート交流事業	A	47
37			9	市民競技場整備事業	A	48
	新規事業合計	8				

評価区分		評価結果
A	順調に達成している	35
B	おおむね順調に達成している	2
C	達成の見込みであるが課題がある	0
D	順調でない	0
計		37

5 各課の事業評価

◇教育総務課の事業評価

方 針	教育委員会の円滑な運営と学校施設環境の整備・充実
重 点	I 教育委員会の円滑な運営 II 学校施設環境の整備・充実 III 瑞浪市教育振興基本計画(みずなみ教育プラン)の中間見直し

方針と重点 の重点番号	I	整 理 番 号	1	事業名	教育委員会事務経費	評価	A
【事業の概要】 毎月教育委員会定例会及び協議会を開催し、教育委員会の方針や規則の制定改廃、予算、人事案件等を慎重審議し、円滑で適正な教育行政の運営を行います。 教育委員は、学校行事やその他教育関係への参加、教育長訪問を同行することで、教育現場の現況把握に努めます。また、教育委員の資質向上のため、外部研修会等への参加を支援し、市の教育課題に即した行政視察を行い、視察成果を教育施策に反映するよう努めます。							
【事業の実績】 【開催回数】 定例会：12回、臨時会：3回 【審議件数】 議案：60件（うち可決したもの：60件） 承認事項：2件(専決処分：2件) 【協 議 会】 12回 ※主な協議事項：ブロック塀の点検と今後の対応について、学校のエアコンの設置について、瑞浪市中学校運動部活動方針について等 【総合教育会議】 1回(11/22) 【そ の 他】 ・学校訪問、式典に参加（成人式など）、市町村教育委員会連合会研究総会（11/9 美濃市）、東濃西部教育委員研修協議会に参加（8/23 瑞浪市）、中学校閉校式（3/16 日吉中、3/17 瑞陵中、3/21 釜戸中）							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 教育委員会の会議を適切に開催します。							
【事業の成果と課題】 ・教育委員会定例会を開催し、議事案件について慎重審議し、円滑で適正な教育行政の運営ができました。 ・協議会では、協議事項に対し、意見や提案をいただき、方針決定の参考としました。 ・総合教育会議は、大綱、暑さ対策について協議し、共通認識を図ることができました。 ・教育委員は、入学式、運動会、小中音楽会、研究発表会等の行事のほか、教育長指導訪問に同行するなど、積極的に学校訪問し、教育現場の現状把握に努めました。また、訪問時の感想や気づきなどを毎月の協議会において報告し合うことで、情報共有や事務局、学校の取組みを振り返る機会とすることができました。							
決算の状況	予算額			決算見込額		執行率	
	1,866,000 円			1,682,386 円		90.2%	

【評価委員からの意見と対応】

○特になし

方針と重点 の重点番号	Ⅲ	整理 番号	2	事業名	瑞浪市教育振興基本計画 策定事業	評価	A
【事業の概要】 「瑞浪市教育振興基本計画(みずなみ教育プラン)」について、計画期間 10 年間(平成 26 年度から平成 35 年度)の中間年である平成 30 年度に前期計画の見直しを行います。							
【事業の実績】 【発行部数】 冊子 280 部、概要版 280 部 【開催回数】 瑞浪市教育振興基本計画推進委員会：3 回、作業部会：5 回 【パブリックコメント】 1 月 4 日～31 日実施・・・コメントなし 当初プラン作成時の目標は、達成した事項もあれば、その後の取りまく環境が変わったことにより新たに生じた課題もあります。後期計画の策定は、[計画策定当初の状況・課題] を振り返り、教育の大きな柱である基本理念や課題分野別の基本目標は継続しつつ、後期計画に向けて、[施策の目標]、[主な取組] の見直しを行いました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 ※平成 30 年度新規事業							
【事業の成果と課題】 ・後期計画を年度内に策定することができました。 ▲後期計画の周知とその実現に努めます。							
決算の状況	予算額		決算見込額		執行率		
	370,000 円		362,182 円		97.9%		
▲・・・課題							
【評価委員からの意見と対応】 ○特になし							

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	整理 番号	3	事業名	明世小学校教室棟整備事業	評価	A
【事業の概要】 明世小学校の児童数増加に伴う教室不足を解消するため、平成 31 年 1 月までに普通教室棟の整備を行います。 <校舎本体>普通教室 3 教室、トイレ、廊下手洗い、渡り廊下 <契約内容>設計施工一括の無償譲渡付リース契約（10 年間）							
【事業の実績】 <平成 29 年度> 平成 30 年 2 月 21 日 明世小学校増築教室棟賃貸借の開札 平成 30 年 2 月 22 日 大和リース(株)と契約、施設整備事業着手 <平成 30 年度> 平成 30 年 4 月 17 日 近隣先進事例学校視察(可児市立今渡北小学校) 平成 30 年 5 月 17 日 外部構造物等撤去(別途)工事着手 平成 30 年 9 月 13 日 電話設備機器更新(別途)工事着手 平成 30 年 11 月 21 日 防犯設備(別途)工事着手 平成 31 年 1 月 21 日 施設整備事業完了、教職員対象に工事業者により取扱説明会を開催 平成 31 年 1 月 21 日～ 児童用机、椅子等の備品の搬入							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 ※平成 30 年度新規事業							
【事業の成果と課題】 4 月 9 日より毎月、学校職員を交えて定例会を開催し、学校からの要望、学校行事等の調整を計り教室棟が完成しました。引き渡しを受け、2 月からリース契約に基づき支払いを開始しました。学校の教職員を対象にリース会社から校舎の使い方等について、説明会を開催し、周知を図りました。 ▲学校職員と連携しながら、安心安全な施設管理を行います。							
決算の状況	予算額			決算見込額		執行率	
	9,259,000 円			8,196,984 円		88.6%	

▲・・・課題

【評価委員からの意見と対応】 ○特になし

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	整理 番号	4	事業名	日吉中学校転用改修事業	評価	A
【事業の概要】 平成 31 年 4 月瑞浪北中学校開校に伴い、閉校となる旧日吉中学校校舎（平成 17 年建築）を日吉小学校として活用できるようにするための改修事業。 ・平成 30 年度 実施設計業務 ・令和元年度 転用改修工事、引越業務							
【事業の実績】 平成 30 年 6 月 6 日 日吉中学校転用改修工事設計業務の開札 平成 30 年 6 月 7 日 (株)パトス建築設計室と契約 平成 30 年 8 月 8 日 空調設置工事を行うため変更契約 平成 30 年 11 月 28 日 設計業務完了							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 ※平成 30 年度新規事業							
【事業の成果と課題】 ・設計業務については、定例会を学校現場で開催し、学校関係者の意見を聞く中で、理想的な校舎の設計を作成することができました。 ・設計内容は、中学校校舎へ最大限、小学校機能を移転するなかで効率的に学校を活用できるよう工夫をし、変更契約において普通教室等への空調整備も設計を行い、期限までに無事完成することができました。 ▲令和元年度の転用改修工事は、旧中学校側の工事を行うとともに、小学校側は夏休みを中心に行うなど、授業の妨げにならないように進め、引き続き学校職員と連携しながら、元年度内に移転を行います。							
決算の状況	予算額		決算見込額		執行率		
	2,700,000 円		2,625,480 円		97.3%		
▲・・・課題							
【評価委員からの意見と対応】 ○特になし							

◇学校統合推進室の事業評価

方 針	健全な教育環境の整備
重 点	I 中学校の統合再編の推進

方針と重点 の重点番号	I	整 理 番 号	1	事業名	学校統合推進事業	評価	A
【事業の概要】 統合に必要な課題協議のため、北部地域統合準備委員会及び専門部会を開催します。 また、生徒間交流事業等を実施します。							
【事業の実績】 ・統合準備委員会及び専門部会を開催し、課題等の協議を行いました。 委員会／1回 専門部会／12回 ・統合準備委員会に関連する会議や説明会を行いました。 PTA 準備会、スクールバス説明会、校舎建築工事現場説明会など ・統合準備委員会ニュースを発行し、対象地区への配布及びホームページ掲載を行いました。 ・統合に係る児童及び生徒の交流を行いました。 学校交流会（小学校及び中学校）、生徒会サミットなど							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 専門部会の開催を増やし課題協議を進めたことで、スムーズかつ前倒しでの課題解消が進みました。							
【事業の成果と課題】 ・統合準備委員会については、委員会や専門部会だけでなく、開校時の PTA 運営に関する会議やスクールバスの説明会など、瑞浪北中学校の生徒の保護者向けに具体的な会議等を開催することができました。また、統合対象校の児童及び生徒間での交流会を行い、統合時の不安や負担の軽減につながることができました。さらに、生徒会サミットを開催し、生徒自ら課題を挙げ、解決策を話し合い、統合後スムーズに生徒会活動を始められる準備となりました。							
決算の状況	予算額			決算見込額		執行率	
	506,000 円			323,726 円		64.0%	

【評価委員からの意見と対応】 ○特になし

方針と重点 の重点番号	I	整理 番号	2	事業名	中学校開校準備事業	評価	A
【事業の概要】 瑞陵・日吉・釜戸中学校の閉校に伴う式典経費及び地域住民が実施する記念事業に対する補助を行います。また、平成 31 年 4 月に開校する瑞浪北中学校の開校式の準備を進めます。							
【事業の実績】 ・閉校式、開校式に必要な消耗品の購入、案内文書等の印刷及び発送を行いました。 ・瑞陵、日吉、釜戸中学校において閉校式を実施しました。 ・地域住民が実施する閉校記念事業に対し、交付金補助を行いました。 ・瑞浪北中学校の開校式準備を進めました。 【閉校式】 ・日吉中学校 3 月 16 日（土） 参加者：約 300 人 ・瑞陵中学校 3 月 17 日（日） 参加者：約 400 人 ・釜戸中学校 3 月 21 日（祝） 参加者：約 500 人 ※式典構成 【第 1 部】 閉校式 市・教育委員会 共催 【第 2 部】 閉校記念事業 地元閉校関連委員会 主催							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 ※平成 30 年度新規事業							
【事業の成果と課題】 ・瑞陵、日吉、釜戸中学校閉校式において必要な物品の購入、案内文書の印刷・発送等を行い、3 校ともスムーズに式典を開催することができました。 ・各校の閉校式は、地元委員会の協力を得て盛大に開催することができました。また、閉校記念事業は、交付金が大いに活用され、思い出に残る式典となりました。 ・平成 31 年度 4 月に開催される瑞浪北中学校の開校式の準備も進めることができました。							
決算の状況	予算額			決算見込額		執行率	
	8,000,000 円			7,263,966 円		90.8%	

【評価委員からの意見と対応】 ○特になし

方針と重点 の重点番号	I	整 理 番 号	3	事業名	瑞浪北中学校施設整備事業	評価	A												
【事業の概要】 瑞浪北中学校の校舎・屋体建築工事の完成。 また、開校日までに閉校校からの備品の引越、備品等の整備を行います。																			
【事業の実績】 ・瑞浪北中学校校舎・屋内運動場新築工事 （2,373,840 千円 ※H29 繰越分 610,460 千円／岐建・中島・青協 特定建設工事共同企業体） ・瑞浪北中学校建築工事監理業務 （52,816 千円 ※H29 繰越分 21,478 千円／株式会社日建設計） ・瑞浪北中学校備品等引越業務（2,884 千円／株式会社エスラインミノ） ・瑞浪北中学校生徒用机・椅子の購入（7,290 千円／株式会社中央ビジネス）																			
【前年度の評価を踏まえた取組み】 関係部署との綿密な打合せを行いながら進めたことにより、計画どおり行うことができました。																			
【事業の成果と課題】 ・瑞浪北中学校の校舎・屋体建築工事を平成 30 年 12 月末無事完成することができました。 また、開校に向けて消耗品・備品等も、閉校する 3 校から精査して行うことができました。																			
<table><tr><td>事業名</td><td>予算額</td><td>決算額</td></tr><tr><td>瑞浪北中学校施設整備事業</td><td>2,461,098,000</td><td>2,459,834,461</td></tr><tr><td>瑞浪北中学校施設整備事業(繰越)</td><td>634,580,000</td><td>631,937,600</td></tr><tr><td>計</td><td>3,095,678,000</td><td>3,091,772,061</td></tr></table>								事業名	予算額	決算額	瑞浪北中学校施設整備事業	2,461,098,000	2,459,834,461	瑞浪北中学校施設整備事業(繰越)	634,580,000	631,937,600	計	3,095,678,000	3,091,772,061
事業名	予算額	決算額																	
瑞浪北中学校施設整備事業	2,461,098,000	2,459,834,461																	
瑞浪北中学校施設整備事業(繰越)	634,580,000	631,937,600																	
計	3,095,678,000	3,091,772,061																	
決算の状況	予算額		決算見込額		執行率														
	3,095,678,000 円		3,091,772,061 円		99.9%														

【評価委員からの意見と対応】 ○特になし

◇学校教育課の事業評価

方 針	たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進
重 点	I 確かな学力の育成 II 「働き方改革」の推進 III 幼稚園・学校の教職員の資質向上 IV 子どもの心と生活の安定を目指す生徒指導の推進 V 一人一人の教育的ニーズに応じた支援の充実

方針と重点 の重点番号	I	整 理 番 号	1	事業名	ALT 派遣事業	評価	A
----------------	---	------------	---	-----	----------	----	---

【事業の概要】

- ・外国人英語指導助手（JET プログラム 1 名・業者委託 2 名）が小中を訪問し、英語教育、外国語活動、国際理解教育を進めます。

【事業の実績】

- ・小中学校への計画的な訪問指導を実施することができました。各小学校 5・6 年生には、年間 50 時間中 43 時間「小学校外国語活動」の時間に訪問し、日本人教師とのチームティーチングを行うことができました。各中学校には、年間約 140 時間中 25～53 時間（学校規模により訪問時間を決定）訪問できました。延べ訪問日数 598 日。研究所勤務を含めると 620 日。
- ・「Hi, Friends 1,2」「We Can 1,2」を活用し、ALT による良質の input を与えるなど、授業の充実を図ることができました。

【前年度の評価を踏まえた取組み】

- ・小学校で、担任と ALT の授業の打ち合わせを確実に行います。
- ・日本人教師と ALT の役割を明確にし、ALT をより有効に活用できるようにします。

【事業の成果と課題】

- ・小学校では、子どもたちが外国語に親しむとともに、学んだ英語を実際のコミュニケーション場面で活用するなど、言語活動を充実させることにつながりました。また、ALT と担任とで授業の打ち合わせを綿密に行ったことにより、授業での担任と ALT の役割が明確になり、授業の充実につながりました。
- ・中学校では、生徒が自己の考え・思いを交流する機会が増える中で、ALT による適切な表現への言い換えや、平易な表現の紹介などが有効に働いています。ネイティブスピーカーの英語に多く触れることは、英語習得の過程で多くの気づきや理解の場をつくることにつながっています。

▲小学校外国語教育の教科化に向けて、外国語活動・英語教育に携わる教職員の指導力をさらに高めていく必要があります。

決算の状況	予算額	決算見込額	執行率
	14,955,000 円	13,948,022 円	93.3%

▲・・・課題

【評価委員からの意見と対応】

○中学校に ALT は、どれくらい行っていますか。

→各中学校には、1 週間単位で派遣しています。生徒数によって、授業時間数には違いがあります。

方針と重点 の重点番号	Ⅲ	整 理 番 号	2	事業名	教育研修経費	評価	A
【事業の概要】 ・教職員の資質向上のための研修会を実施します。 ・小中学校の授業研究会や研修会に外部専門講師を招聘します。							
【事業の実績】 ・夏季研修会については、5 日間のべ 297 名が受講しました。 ・開設した講座は、英語教育、ICT 教育、道徳教育、特別支援教育、幼児教育、作陶体験、瑞浪市歴史探訪、実践論文等で合計 16 講座を実施しました。 ・各学校の授業研究会や研修会に外部講師を招聘し、活動や授業の充実に努めました。各小学校合計すると年間で延べ 70 名の講師を招聘しました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 ・プログラミング教育の実施やタブレットの導入に備え、ICT 教育にかかわる研修を実施します。							
【事業の成果と課題】 ・教職員のニーズに応じた研修及び教育の今日的な課題に係る研修の実施により、資質向上が図られています。 ・特別支援教育講座では、東濃圏域発達障がい支援センターの笠原氏を招聘し、教職員・幼稚園職員だけでなく学業支援員の研修も兼ねて実施しました。子どもを見立てる視点やインシデントプロセス法によるケース会議の行い方など、より実践的な研修をすることができました。 ・プログラミング教育の実施やタブレットの導入に備え、ICT 教育にかかわる研修として東濃教育事務所指導主事によるプログラミング教育講座や教科書出版社によるデジタル教科書活用講座を開講し、研修を行いました。 ・各園・学校における研修会では、各園・学校の研修課題に応じた研修を充実させることができました。 ・他市から赴任している教員に対して、作陶体験や市の歴史探訪講座を受講してもらい、瑞浪市のよさを他地域の方に広めることに貢献しました。 ▲新たな課題に対する研修を行う必要があります。							
決算の状況	予算額			決算見込額		執行率	
	472, 000 円			377, 472 円		80. 0%	

▲・・・課題

【評価委員からの意見と対応】 ○研修会には、全ての教職員のうち、何人が参加しましたか。 →どの教職員も、一人 1 講座以上を必ず受講するようにしています。

方針と重点 の重点番号	Ⅲ	整 理 番 号	3	事業名	幼児園・小学校・中学校課題指 定園・校経費	評価	A
【事業の概要】 ≪幼児園≫ ・2年サイクルで研究園を指定し、教育活動を支援します。指定園は課題を策定・研究し2年目に研究発表会を実施します（30年度発表園はみどり幼児園）。1年目は予算措置はありません。 ≪小学校・中学校≫ ・3年サイクルで研究校を指定し、教育活動を支援します。指定校は課題を策定・研究し3年目に研究発表会を実施します（30年度発表校は稲津小学校、瑞陵中学校）。指定1、2年目は予算措置はありません。							
【事業の実績】 ≪事前指導≫ ・教育長訪問や研究会等で、研究推進全般や教職員の指導力向上について指導、助言を行いました。 ≪発表会≫ ・10月16日 稲 津小学校…7学級公開授業、市内外教職員等参加者約120人 ・10月19日 瑞 陵中学校…8学級公開授業、市内外教職員等参加者約100人 ・10月30日 みどり幼児園…6学級公開授業、市内外保育者等参加者約200人							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 ・園や学校の課題を踏まえた研究を推進します。							
【事業の成果と課題】 ≪事前指導≫ ・教育長訪問や研究会等での指導、助言により、教職員の指導力向上と確かな教育推進につながることができました。また、発表会に向けて見通しをもつことができました。 ≪発表会≫ ・稲津小学校…教科書にある素材や問題を使い、教科書に直接書き込みながら指導をする算数授業のあり方が提案されました。 ・瑞陵中学校…「瑞陵スタンダード授業」を作成し、どの教科でも、どの学年でも指導を共有しながら実践を積み重ねて発表しました。 ・みどり幼児園…遊びを通した指導の中で、特に体幹を鍛える遊びを意図的に取り入れた実践を発表しました。 ▲発表校の教職員の力量向上とともに、園児児童生徒の学ぶ力の向上につながり、継続していくことが重要です。							
決算の状況	予算額		決算見込額		執行率		
	788,000 円		765,431 円		97.2%		

▲・・・課題

【評価委員からの意見と対応】 ○研究発表校に指定され、授業公開することで、児童生徒の学習に対する意欲が高まります。

方針と重点 の重点番号	Ⅳ	整 理 番 号	4	事業名	教育支援センター運営経費	評価	A
【事業の概要】 ・不登校児童生徒の学校復帰を目指して、指導員2名（嘱託職員）により適応指導を行います。 ・適応指導教室室長による学校訪問や保護者面談をしながら、適応指導教室への通級を勧める活動を行います。また、実態に応じて、スクールカウンセラーやスクール相談員、スクールソーシャルワーカー、瑞浪市巡回臨床心理士と連携した支援も進めていきます。 ・通級する児童生徒に対しては、「援助シート」を作成し、指導員が実態に応じて学習や生活の個別指導を行い、対人関係を学んだり、学習の遅れを取り戻したりしながら、学校復帰を目指します。							
【事業の実績】 ・不登校児童生徒に対し、学校・他の教育機関、関係機関等と連携して、該当児童生徒や保護者へ働きかけ、7名の小中学生が通級できるようになりました。 ・室長が学校訪問したり、ケース会議に参加したりし、情報を共有して対応することで、通級への意欲を見せたり、見学したりした児童生徒が16名いました。 ・適応指導教室では、学校とともに「援助シート」を作成し、支援目標、支援方法等を明確にし、計画的・継続的に支援を進め、徐々に遅れを取り戻しています。 ・教育相談活動については、平成30年度末までに、電話や来室・訪問での相談を484件行いました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 ・より多くの児童生徒が学校復帰をできるように、個別の援助シートを活用したり、ケース会議を行ったりします。							
【事業の成果と課題】 ・学校と適応指導教室が連携し、不登校傾向の児童生徒を体験入級につなぐことができました。また、体験入級期間中にエネルギーを蓄え、登校につながる児童もいました。 ・学校復帰を目指し、「援助シート」を作成して、計画的・継続的に指導ができました。 ・こぶし教室運営委員会や学校訪問を通して、学校との連携を図り、情報の共有化及び各ケースの実態に応じた支援を行いました。 ▲児童生徒の欠席が続いた時には、早目に適応指導教室と学校の連携をとり、長期化しないように手立てを打つ必要があります（特に、兄弟姉妹関係に不登校の児童生徒がいる場合）。							
決算の状況	予算額			決算見込額		執行率	
	7,425,000 円			7,079,114 円		95.4%	

▲・・・課題

【評価委員からの意見と対応】 ○評価が、BからAになったのはどうしてですか。 →小中合同ケース会議を実施し、本人への指導・援助だけでなく、家庭への支援も考えることができたからです。 ○学校へ復帰することができたのは何人いますか。→6名です。

方針と重点 の重点番号	V	整 理 番 号	5	事業名	児童生徒学業支援員派遣事業	評価	A
【事業の概要】 ・小中学校において、学級担任や教科担任の補助として、特別な支援を必要とする児童生徒（発達障がいや学習障がい等のある児童生徒、日本語の理解が難しい外国籍児童生徒等）へ個別支援を行う人員を配置します。 ・学校図書館の整備及び児童生徒への読書指導等の支援を行う人員を配置します。							
【事業の実績】 ・小学校 7 校へ 17 名、中学校 4 校へ 7 名、図書支援として 2 名、合計 26 名を派遣しました。 ・各校では、授業中の学習支援や休憩時間等の生活支援を個の実態に応じて行いました。 ・図書支援員は、購入した新刊図書の配架や掲示物の作成、委員会活動のサポートを行い、児童生徒が利用しやすい環境づくりに努めました。また、瑞浪北中学校開校に向けて、図書館の整備を行いました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 ・学校のニーズに応じた学業支援員の配置をします。							
【事業の成果と課題】 ・学校の実情を踏まえて 26 名の学業支援員を派遣しました。各校で時間割を工夫する等して、限られた支援員を有効に活用することができました。 ・学業支援員の派遣により、子どもの困り感に寄り添ったきめ細かい支援が可能となり、安定した生活姿勢、学習に対する意欲の喚起につながりました。また、担任や教育相談コーディネーターなどと連携し、不登校傾向の児童生徒や不登校から学校復帰した児童生徒のサポートを行いました。 ・東濃地区学校図書館教育賞において、優秀賞を瑞浪小学校、釜戸小学校、釜戸中学校が、努力賞を瑞浪中学校が受賞しました。 ▲特別な支援を必要とする児童生徒は増加しており、支援員の増員が必要になっていますので、引き続き予算の要望を行います。							
決算の状況	予算額		決算見込額		執行率		
	30,788,000 円		27,769,900 円		90.2%		

▲・・・課題

【評価委員からの意見と対応】 ○学業支援員の数は、26 名で足りていますか。 →前年度より 1 名多く派遣することができましたが、学校からの要望数とは差があります。引き続き強く要望していきます。
--

方針と重点 の重点番号	Ⅲ	整 理 番 号	6	事業名	キャリア教育推進事業	評価	A
【事業の概要】 ・市内中学校2年生の職場体験学習の充実に向けて支援します（推進懇談会の実施・賠償保険料の支払）。 ・生徒が将来のことや生活の仕方を深く考えることができるように、事前及び事後の指導が充実するよう支援します。							
【事業の実績】 ・市内中学校5校の2年生全295名が、のべ139事業所で職場体験学習を行い、望ましい勤労観・職業観の育成を図ることができました。 ・職場体験学習が円滑に実施できるようキャリア教育推進懇談会を年2回（7月、12月）実施し、関係団体の会長等との懇談を充実させることができました。 ・事前や事後の指導において、関係団体の方から話を聞く機会をもち、より深く将来のことや生活の仕方について考えることができました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 ・体験活動だけでなく、キャリア教育の目的をより明確にした指導をしていきます。							
【事業の成果と課題】 ・市内中学2年生全員が事故なく職場体験学習を行い、望ましい勤労観・職業観の育成を図ることができました。 ・協力していただいた事業所が多く、1事業所当たりの生徒数が2名程度でした。他の生徒に依存することなく主体的な体験につながりました。また、温かい支援により生徒が充実感を得ることができました。 ▲推進懇談会については、地域ぐるみのキャリア教育を推進していくため、引き続き実施していく必要があります。 ▲事業所との打合せやお礼のために事前、当日、事後と3回訪問しています。訪問回数を減らすための効率的な運営を考えていく必要があります。							
決算の状況	予算額			決算見込額		執行率	
	149,000 円			144,000 円		96.7%	

▲・・・課題

【評価委員からの意見と対応】 ○瑞浪市は2日間の体験ですが、3日間実施している市もあります。日数を増やすことはできないでしょうか。 →体験を3日間にするためには、学校の指導計画や事業所の受け入れ態勢を見直す必要があります。そのため、今年度は2日間で実施する予定です。
--

方針と重点 の重点番号	Ⅲ	整理 番号	7	事業名	教育研究所運営経費	評価	A
【事業の概要】 ・各学校の代表である嘱託所員とともに、算数・数学科の授業研究を行います。成果を「教育みずなみ」に掲載するとともに、成果報告会をもつことで市内教員に広めます。 ・各教職員の研究成果をまとめた論文を審査・表彰し「教育実践論文集」に集録する等、教員の研究活動を奨励・援助し、教育レベルの向上を図ります。 ・教育研究所機関誌「教育みずなみ」（隔月刊）を発行します。 ・分析授業の「授業記録」を発行します。							
【事業の実績】 ・教育実践論文を募集、審査、表彰し、入賞作品を「教育実践論文集」に集録しました。52人の応募がありました。 ・分析授業を冊子「授業記録」にまとめ、嘱託所員、学校所員とともに詳細に分析しました。また、「教育みずなみ」No.65－1～6を発行しました。 ・年度末のアンケートからは、分析授業や学力向上等の「教育みずなみ」の掲載記事が「参考になった」「どちらかと言えば参考になった」という教職員は95%と、よい反応がありました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 ・「教育実践研究論文集」や「教育みずなみ」を配付して具体的な実践を紹介することで、教員の資質向上を図っていくようにします。							
【事業の成果と課題】 ・実践論文の応募が、合計52点ありました。応募率は24%。実践論文の作成により、教職員の資質向上に大変つながっています。 ・優秀論文を「教育実践研究論文集」にまとめ、市内教員に配付することで効果的な教育実践を広めることができました。配付数を少なくするなど経費削減の努力をしています。 ・「教育みずなみ」で、幼小中の特色ある取組、学力向上に係る取組等、具体的な実践を紹介できました。 ・研究所主催の分析授業及び学校所員研究授業において、ICTを活用した授業を提案しました。分析授業の「授業記録」を発行しました。詳細な授業記録をもとに、授業の分析を進めることで、関係教諭の指導力の向上につながりました。 ▲年々変わる教育課題に対応できるよう、掲載内容を一部変更し、教員の資質向上の一助とします。							
決算の状況	予算額			決算見込額		執行率	
	526,000 円			383,797 円		73.0%	

▲・・・課題

【評価委員からの意見と対応】 ○論文集を配付することは、教職員の資質向上につながると考えられるのに、なぜ配付数を減らしたのですか。 →教職員への調査で配付されても読んでいない教職員のいることが分かりました。そのため、配付数を減らしました。
--

方針と重点 の重点番号	I	整 理 番 号	8	事業名	ICT 教育推進事業（小学校タブレットPC購入事業・中学校タブレットPC購入事業）	評価	A
【事業の概要】 ・各小中学校にタブレット型 PC を導入します。 ・ICT 機器を活用するための教員研修を行います。 ・ICT 機器を活用した授業改善を行います。							
【事業の実績】 ・瑞浪小学校をタブレット型 PC 活用授業試験校に指定し、タブレットを活用した授業実践の積み重ねを行いました。 ・教育研究所事業「分析授業」において、タブレットを活用した授業公開を行い、その有効性について分析を行いました。 ・教育長訪問等の学校訪問で ICT 機器を活用した授業公開を 1 つ以上位置付けました。 ・教員研修として夏季研修でプログラミング教育に向けた研修講座と、デジタル教科書活用研修講座を開講し、それぞれ約 20 名の市内教職員が研修しました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 ※平成 30 年度新規事業							
【事業の成果と課題】 ・タブレット型 PC を活用した授業の実践を瑞浪小学校から他校に発信すると共に、機関誌「教育みずなみ」を通して、その有効性を示すことができました。 ・稲津小学校の瑞浪市指定研究発表会では、公開したすべての学級で ICT を活用した指導を示し、その有効性を他校の教職員に示しました。 ▲中学校 3 校でタブレット型 PC をより効果的に活用して授業改善を図っていくために、実践事例を累積していくことと、情報セキュリティポリシーの策定と強靱な情報セキュリティ環境設定を整えていく必要があります。							
決算の状況	予算額			決算見込額		執行率	
	6,308,000 円			6,240,240 円		99.0%	

▲・・・課題

【評価委員からの意見と対応】 ○小学校にタブレットが入るのはいつですか。 →令和 2 年度に入ります。 ○各校にタブレットは 40 台しかないので、有効な使い方を研究してほしいと思います。 →タブレット型 PC 活用授業試験校の実践から得られた有効な活用の仕方を、他校に広げていきます。
--

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	整理 番号	9	事業名	「働き方改革」推進事業	評価	A
【事業の概要】 ・教職員の時間外勤務を正確に把握します。 ・時間外が月 80 時間、年 720 時間を超えないように勤務します。 ・「やめる」「減らす」「変える」を視点に、仕事内容の軽減を図ります。							
【事業の実績】 ・教職員の勤務時間把握用の PC に、勤務時間を確実に入力するよう働きかけ、正確な出退勤時刻を把握し、各校で働き方改革プランを作成して取り組みました。 ・月 80 時間、年 720 時間を超える時間外勤務の教職員がいなくなりました。 ・学校閉庁日や早く帰る日を設定することで、時間外勤務を減らすことにつながりました。 月 80 時間以上時間外勤務をした教職員数 4 月 5 人、5 月 9 人、6 月 26 人、7～8 月 0 人、9 月 2 人、10 月 9 人、11～3 月 0 人 ひと月あたり時間外勤務 H29 年度…52 時間 33 分 → H30 年度…46 時間 6 分							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 ※平成 30 年度新規事業							
【事業の成果と課題】 ・勤務時間を入力することによって、時間に対する意識が高まり、教職員一人一人が働き方について意識するようになりました。 ・月によって、教職員の勤務時間に大きな差があります。成績づけの時期や、部活動の大会前などには、勤務時間が長くなってしまいます。仕事を能率的に進めるために、統合型校務支援システムの導入や、教材などのデータベース化が必要です。 ▲月平均 60 時間を超えた時間外勤務をしている教職員が 11 月末現在で 38 人いましたが、3 月末には 0 人になりました。学校閉庁日や早く帰る日を設定するだけでなく、学校行事を見直したり、保護者や地域に協力依頼したりしていく必要があります。また、県へ定数増加を要望していきます。							
決算の状況	予算額		決算見込額		執行率		
	0 円		0 円		---%		

▲・・・課題

【評価委員からの意見と対応】 ○パソコンへの入力で、勤務時間を正確に把握できていますか。 →教職員一人一人が、自分の働き方を意識しながら入力をしています。 ○変動時間制の勤務や事務仕事を行う職員の配置を進めるようにしてほしいです。また、教職員が健康で働くことができるようにしてほしいと思います。 →仕事が効率的にできるよう、内容を見直していきます。

◇学校給食センターの事業評価

方 針	安全で、栄養バランスのとれた、おいしい給食の提供
重 点	I 衛生管理の徹底 II 給食の安定的な供給 III 施設・設備の整備 IV 安心で、美味しい給食の提供 V 食に関する指導の充実

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	整 理 番 号	1	事業名	学校給食配送委託事業	評価	A
【事業の概要】 学校給食を市内の小・中学校に限られた時間内に確実・安全に配送するため、配送事業を専門業者に委託します。							
【事業の実績】 契 約 先：東海西濃運輸株式会社 岐阜東濃支店 岐阜県土岐市下石町西山 304 番地の 912 契 約 期 間：平成 28 年 4 月 1 日から平成 33 年 3 月 31 日まで 配送施設数：小学校 7 校、中学校 5 校 1 学期 67 日、2 学期 81 日、3 学期 51 日 計 199 日の給食を配送しました。 配 送 車 両：4 台							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 安全に運行できるよう、委託業者と連絡を密に行いました。							
【事業の成果と課題】 市内の小・中学校への給食の配送を確実に実施することができました。							
決算の状況	予算額			決算見込額		執行率	
	21,384,000 円			21,384,000 円		100%	

【評価委員からの意見と対応】 ○新年度は、平成 30 年度と比して、配送する学校が 12 校から 10 校に減少したことで、配送委託料はどうなりますか。 →減額しています。

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	整理 番号	2	事業名	学校給食調理等委託事業	評価	A
【事業の概要】 小・中学校 12 校の学校給食約 3,000 食の調理・食器洗浄業務等を民間業者に委託し、安全・安心で美味しい給食を提供します。							
【事業の実績】 契約先：ハーベストネクスト株式会社 神奈川県横浜市保土ヶ谷区岩間町二丁目 120 番地 契約期間：平成 30 年 4 月 1 日から平成 33 年 3 月 31 日まで 配送施設数：小学校 7 校、中学校 5 校 1 学期 67 日 2 学期 81 日 3 学期 51 日 計 199 日 541,785 食の給食を提供しました。 警報発令による休校のため、給食が中止となった日が 4 日ありました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 委託業者を変更しましたが、大半の調理員等が残っていたので、支障なく実施できました。							
【事業の成果と課題】 平成 30 年度から受託業者が変更となりましたが、安全・安心で美味しい給食を時間までに提供できました。							
決算の状況	予算額		決算見込額		執行率		
	62,640,000 円		62,640,000 円		100%		

【評価委員からの意見と対応】
○子どものアレルギー対応食は、どうなっていますか。
→本市の給食センターで、対応食をつくることができないので、子ども、家庭、学校、給食センターで、連絡を密にすることとで、食物アレルギーによる事故を防ぎます。
○給食が中止となった 4 日間は、委託料を減額していますか。
→契約額は年間で行っているなので、休校で配送や調理等が中止となっても委託料は減額されません。

方針と重点 の重点番号	Ⅲ	整理 番号	3	事業名	学校給食施設等改修事業	評価	A
【事業の概要】 学校給食センターが現在の場所に改築されてから 17 年が経過し、建物や施設設備等が老朽化してきました。改築 20 年目を目途に、施設設備全体の改修を効率的に行うため、現状を調査し、施設設備の中長期改修計画を策定します。 改修事業実施までの日程 令和元年 基本設計 令和 2 年 実施設計 令和 4 年～6 年 改修工事							
【事業の実績】 センター設立時から使用されている機器を更新するための見積を依頼し、改修工事を行うための参考としました。 平成 31 年度予算に中長期計画策定の委託料の予算要求を行いました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 ※平成 30 年度新規事業							
【事業の成果と課題】 ▲施設の長寿命化を図るため、中長期的な視野に立って改修を行う必要があります。 ▲令和元年度予算に中長期計画策定の委託料の予算要求を行い認められました。計画策定を行うことで、改修が必要な機器を明確にし、改修までの計画を立てていきます。							
決算の状況	予算額			決算見込額		執行率	
	0 円			0 円		---%	
▲・・・課題							
【評価委員からの意見と対応】 ○新年度予算に基本設計作成に関する予算が計上されているので、その成果を期待します。							

方針と重点 の重点番号	Ⅳ	整理 番号	4	事業名	ふれあい給食事業	評価	A
【事業の概要】 地元農産物、地元農家等への理解を深めるため、地元野菜の生産者等で給食時間に市内の小学校を訪問し、話をしながら一緒に給食時間を過ごします。 当日は地元産の野菜や畜産物を献立に取り入れ、地産地消を推進します。 生産者が子どもたちに野菜作りの苦労話などをするすることで、地元産の野菜等に興味を抱き好き嫌いなく食するようにします。							
【事業の実績】 12月7日に地元生産者等が陶小学校を訪問し、給食時間に各クラスに1名～2名の農家の方と児童が交流しました。 当日の献立：瑞浪米ごはん、瑞浪ボーノポークの生姜焼き、お浸し、日吉みそ汁 お米タルト、牛乳 当日使用した瑞浪産食材：米、瑞浪ボーノポーク、ねぎ、日吉みそ、大根 お米タルトのクリーム							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 インフルエンザの流行期を避け、冬野菜の収穫期である12月の中旬に実施することができました。							
【事業の成果と課題】 ・平成29年度までは全国学校給食週間（1月24日から1月30日）に合わせて開催していましたが、この時期はインフルエンザの流行期間と重なることが多く、また地元産の野菜が少なく入手困難となっていました。そのため、平成30年度から12月上旬に時期をずらして開催しました。当日は欠席者も少なく、また、昨年度の予定よりも多くの瑞浪産の食材を提供できました。子どもたちが生産者から野菜作りの苦労話や豚の育て方を聞くことで食に対する感謝の気持ちを育むことができました。 今後も「JAとうと」との連携を深め、生産者を確保し、多くの農家に参加していただきたいです。							
決算の状況	予算額			決算見込額		執行率	
	0円			0円		---%	

【評価委員からの意見と対応】 ○前年度はインフルエンザの流行等で、中止になったことを踏まえ、実施時期を考慮したことで、実施ができてよかったです。
--

◇社会教育課の事業評価

方 針	①ともに学び、成長し、高めあえる社会教育の推進
重 点	I 多様な世代に対応した生涯学習の内容の充実 II 地域での子育てに係る学習環境の整備 III 高齢者の活躍の場づくり IV 公民館・図書館等による人材発掘と育成

方 針	②郷土愛を育む文化・芸術の振興
重 点	I 市民が歴史・文化・芸術に触れる機会の充実 II 後継者育成、文化芸術活動団体の支援

方 針	③子どもの成長支援のための幼稚園・学校、家庭、地域の連携強化
重 点	I 連携による家庭の教育力の向上 II 連携による地域の教育力の向上

方針と重点 の重点番号	③- Ⅱ	整理 番号	1	事業名	瑞浪市主張大会開催事業	評価	A
【事業の概要】 青少年の健全育成と、大人による「子ども・若者理解」の促進を目的として実施します。 中学生については、少年の主張岐阜県大会の瑞浪市予選会を兼ねます。 実施方法は、「市内の各小・中・高等学校の代表（各校1名）、及び一般応募者が、開催要 項に定められた課題に沿って発表する。審査により賞を授ける。」とします。							
【事業の実績】 6月17日（日）に総合文化センター文化ホールにおいて開催しました。市青少年育成推 進員、市内の3高等学校の生徒6名がボランティアとして協力して運営や進行を行い、495 名の来場者がありました。 出場した小中学校と高校の児童生徒には、自分の考えや思いを大勢の人に伝える力を付け る場、来場した市民には青少年の思いや考えから学ぶ場となりました。ボランティアの高校 生は採点の補助や司会進行等全般において活躍し、スタッフや来場した市民からも高い評価 を得ました。 発表内容については、記録冊子及びCDを作成し、関係者に配布しました。 CD作成数：20部 配布先：市内の小学校、中学校、高校及び一般の部の出場者 記録冊子作成数：150部 配布先：市長、副市長、教育委員、出場校、出場者、 青少年育成町民会議、地区公民館							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 過去4年間、「一般の部」の出場者がありませんでしたが、今年度は青年の船「とうかい 号」の乗船者が「一般の部」に出場したことが新たな取組みで、そのことによって来場者の 層が広がったことにつながっています。							
【事業の成果と課題】 ・地域の大人が「子ども・若者理解」を進めるという目的から、推進員が市民会議や町民会 議で来場を呼び掛けました。今年度は青年の船「とうかい号」の乗船者が出場したことも、 来場者の層が広がったことにつながりました。 ・アンケート結果では、来場者の多くが「来てよかった。」との回答を得ました。 ・主張大会を支える高校生ボランティアの活躍も大会の空気を盛り上げました。 ▲今後の課題は、さらなる来場者数の増加です。そのためには学校関係者だけではなく、よ り多くの市民の方々に興味をもってもらう必要があります。							
決算の状況	予算額		決算見込額		執行率		
	165,000円		151,490円		91.9%		
▲・・・課題							
【評価委員からの意見と対応】 ○特になし							

方針と重点 の重点番号	①-I ①-IV	整 理 番 号	2	事業名	生涯学習推進事業	評価	A
【事業の概要】 生涯学習推進懇談会を開催し、市民の学習の在り方に対する提案を行います。 また、市民への生涯学習啓発を目的としたガイドブックの作成や、瑞浪市の自然・歴史・文化・産業等に関する様々なテーマによる「生涯学習講座」の開催を実施します。							
【事業の実績】 各公民館及び民間施設等から情報を収集し、市内で開催される講座等の情報を取りまとめた「生涯学習ガイドブック」について、内容を充実して作成しました。広報4月15日号で全戸に配布し、情報提供を行いました。 継続実施してきた生涯学習講座を中央公民館講座へと移行して、一層の充実を図りました。 生涯学習推進懇談会については、役割や目的などを見直し、平成30年度以降は開催しないこととし、設置要綱を廃止しました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 生涯学習推進時懇談会の事業内容を見直し、開催しないこととしました。生涯学習講座については、中央公民館講座へと移行し、生涯学習推進事業としては、生涯学習啓発のための情報提供、提案を行うこととしました。							
【事業の成果と課題】 ・中央公民館講座や各地区公民館講座、文化祭などの学習活動の実施内容について、市内公民館で情報交換を行ったことが、市民の学習機会の充実につながりました。 ・「生涯学習ガイドブック」の内容を充実することで、市民への学習に対する情報提供、提案を行うことができました。 ▲幅広い年齢層に対する事業や世代間交流事業の創出が課題です。							
決算の状況	予算額			決算見込額		執行率	
	411,000 円			374,526 円		91.2%	
▲・・・課題							
【評価委員からの意見と対応】 ○課題として捉えている事業の創出について具体的な策はありますか。 →現時点では具体策はありませんが、今後も課題解決に向け検討を進めてまいります。							

方針と重点 の重点番号	①ーⅡ ③ーⅡ	整 理 番 号	3	事業名	青少年育成推進事業	評価	A
【事業の概要】 青少年育成市民会議事業を中心として青少年健全育成活動を推進します。市民会議への交付金（モデル地区への活動交付金を含む）、青少年育成推進員の報酬、及び市子ども会連合会事業と青年の船研修に対する補助金が主要経費です。							
【事業の実績】 青少年育成推進委員会（構成員 11 名；うち 1 名は県推進指導員）を年 9 回開催しました。平成 30 年度は、青少年育成市民会議を年 2 回開催した他、高校生と語る会「フレッシュトーク I N 瑞浪」、「家庭教育部会研修会（市 P 連教育講演・懇談会への参加）」、「夏季特別街頭巡回指導」、中学生・高校生とともに駅前のガムはがしを行う「無ガム中大作戦」を開催しました。市民会議ではモデル地区（瑞浪地区）とモデル団体 2 団体（土岐小・稲津小ソフトボールスポーツ少年団）の活動発表、及び優良青少年育成者等の表彰を実施しました。 発足から半世紀が経ち、青少年を取り巻く状況も大きく変わったため、目的に照らしながら、規約改正・組織・活動内容の見直しを行いました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 青少年育成市民会議の規約・組織を変更し、市民会議の部会員の多くが充て職であるために継続的な取組みが困難なことや青少年育成推進員の負担が恒常的に大きいことを解消すべく取り組みました。							
【事業の成果と課題】 ・青少年育成街頭啓発活動について、夏は各地区の夏祭り会場と大型商業施設、冬は各地区の文化祭会場で実施し、市民に直接働きかけることができました。また、規約・組織・活動について現状や目的に照らして見直しを行いました。 ▲令和元年度には県民会議の会場が本市となり、市民会議の活動内容を発表します。市内成関係者に積極的に出席を依頼し、活動への理解を深めてもらう場にする必要があります。							
決算の状況	予算額		決算見込額		執行率		
	2, 219, 000 円		2, 215, 562 円		99. 9%		
▲・・・課題							
【評価委員からの意見と対応】 ○特になし							

方針と重点 の重点番号	①-Ⅱ ③-Ⅱ	整 理 番 号	4	事業名	成人式開催経費	評価	A
【事業の概要】 瑞浪市の成人式は、長年引き継がれてきた「成人の火の伝達」等の伝統を継承しながら、成人の自覚と将来への激励を目的とし、新成人実行委員会を中心に地域の方々の協力による手づくりの成人式を開催します。							
【事業の実績】 瑞浪市の伝統である、「成人式実行委員会が中心となった式典づくり」を行いました。成人式実行委員会は、市内各地区出身の新成人有志が集い、式典の企画から当日の運営・進行までを担うものです。平成 30 年度は全 21 名の新成人が参加し、全 22 回の会議と、実行委員側から希望のあった 2 回の自主練習を経て、成人式をつくり上げました。 実行委員会は、前年度に引き続き、実行委員の自発性と創意工夫を引き出すことを重視しながら進めました。その結果、実行委員の意見交流や活動が回を重ねるごとに活発になり、深い絆も生まれました。こうして完成した成人式は、参列した多くの新成人に共感、笑顔、感動を呼びました。○成人対象者：494 名、内出席者 384 名、出席率：78%							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 伝統となっている「成人の火の伝達」を受け継ぎつつ、今後の飛躍を願いいつまでも「ふるさとみずなみ」とのつながりを感じ続けられるような式となるように、実行委員全員で進めました。							
【事業の成果と課題】 ・成人式実行委員会第 3 回で、今年のテーマが「扉」に決め、今後の飛躍を願い、いつまでも「ふるさとみずなみ」とのつながりを感じ続けられるような式となるよう委員会が進められました。その結果、「夢に向かって果敢に挑戦する・生きがいをもっていきいきと暮らす・地域への愛着や誇りをもつ（みずなみ教育プラン）」ことのできる式典となりました。 ▲今後も実行委員方式による成人式の開催を続けていきますが、仕事や学業が忙しい中で、半年にも及ぶ継続的な取組を要するため、委員のなり手を募ること、モチベーションの維持することが課題です。過去の実行委員にやりがいを伝えてもらうこと、可能な限り負担を減らしていくこと、広報等で具体的に P R していく等の策を講じる必要があります。 ▲令和 4 年 4 月 1 日の施行が予定されている成人年齢の 18 歳への引き下げがあることから、今後の成人式の在り方について検討する必要があります。							
決算の状況	予算額		決算見込額		執行率		
	1,932,000 円		1,877,546 円		97.2%		
▲・・・課題							
【評価委員からの意見と対応】 ○実行委員会の会議回数や期間が長く、実行委員の負担になっていませんか。 →精選し、負担にならないようにします。							

方針と重点 の重点番号	①-I~Ⅳ ③-I	整 理 番 号	5	事業名	中央公民館講座等開催経費	評価	B
【事業の概要】 市民のライフスタイルや生活技術の向上、多様な学習意欲の向上に適した講座・教室等を開催します。また、高齢者学級としての寿大学の運営や、家庭教育の充実を目的とする母親学級等を開催します。							
【事業の実績】 ○短期講座・教室（10 講座：受講生数 69 人） ①集まれ！子ども和太鼓教室、②きょうから始める生前整理、③手づくり花かざり教室、④夏休み子ども教室、⑤ベビーマッサージ講座（※台風のため中止）、⑥和太鼓体験講座、⑦美文字教室、⑧失敗しない冷蔵庫の整理収納、⑨正月飾り講座（ハーバリウム）、⑩家族介護講座 ○登録自主グループ 21 団体、延べ会員数 220 人 →自主ぐる～ぷ展 3 月 8 日（金）～10 日（日） 来場者数 181 人 ○高齢者学級 中部寿大学（学生数 146 人） ○婦人学級 ひまわり婦人学級（学生数 21 人）、常盤婦人学級（学生数 26 人） ○家庭教育学級 三園母親学級（学生数 35 人） 明日の親学級 5 月～3 月（日）（4 回）10：30～11：30（受講生数 15 人）							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 和太鼓教室では、美濃源氏七夕まつりで学習の成果を発表しました。講座後に発表、展示する場を設けることは学習効果を高めることにつながるため、今後も文化祭や美術展を活用していきたいと考えます。							
【事業の成果と課題】 ・気軽に参加しやすい短期講座を企画し、幅広い世代が多様な学習を行うことのできる場を提供しました。 ・各公民館間の講座に関する情報交換や相互周知を図る場を設け、講座の企画に反映させることができました。 ▲市民が受講しやすい体制を構築し、広報を充実させ、1 講座あたりの受講者数を増やすこと及び受講者層の拡大を図ることが課題となっています。							
決算の状況	予算額		決算見込額		執行率		
	502, 000 円		389, 715 円		77. 7%		
▲・・・課題							
【評価委員からの意見と対応】 ○美術展の出品増加につながるような関連した講座を開催してはどうですか。 →出品増加につながるような講座を企画したいと考えます。							

方針と重点 の重点番号	②-I ②-II	整 理 番 号	6	事業名	美術展開催事業	評価	B
【事業の概要】 第 65 回瑞浪市美術展（一般の部）を公募展として開催します。							
【事業の実績】 第 65 回瑞浪市美術展（一般の部）を、平成 30 年 10 月 24 日（水）～10 月 28 日（日）の 5 日間開催しました。引き続き、21 世紀を担う若者の豊かな才能を育てるため、高校生を対象とした「ききょう賞」を設けました。 出品数 222 点（うち賛助・無鑑査等 43 点）、入賞 61 点、展示作品数 210 点。入場者数 935 人。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 他市の美術展を参考に懇談会で部門の見直しについて、意見をいただきました。令和元年度より工芸を手工芸とする見直しを検討しています。							
【事業の成果と課題】 ・出品数は 222 点で、前年度と比較し 22 点（9%）の減となりましたが、賛助、無鑑査等の出品が多数あり、市民が優れた芸術に触れる機会となりました。 ▲年々出展数が減少しており、どの部門も創作活動者の絶対的人口が減少している中で、いかに市内在住者に出品してもらうかが課題となっています。 ▲今後は、出品数の増加に繋がるよう部門の統廃合、応募要項の見直しなどの検討が必要です。							
決算の状況	予算額			決算見込額		執行率	
	1,768,000 円			1,628,620 円		92.2%	

▲・・・課題

【評価委員からの意見と対応】 ○来場者を増やすため、少年の部の入選者を一般の部でも展示してはどうですか。 →現在、一般の部を先に行っているため、令和 2 年度の開催に向けて、検討します。
--

方針と重点 の重点番号	②-I ②-II	整 理 番 号	7	事業名	中央公民館自主事業	評価	A
【事業の概要】 文化ホールでの公演事業を企画実施し、市民に芸術文化に触れる機会を提供します。平成30年度は、音楽公演と文化公演の5事業を計画しています。 また、プロ、アマを問わず、地元で活躍している方や所縁のある方などを広く市民に紹介して行く事業として、ホワイエふれあいコンサートを随時開催します。							
【事業の実績】 ○公演事業（5公演） 7月8日 青島広志の歌とピアノと作曲の現場をのぞく （294人）〔収容可能数794人〕 9月13日 「宝くじまちの音楽会」岡村孝子&あみん （648人）〔収容可能数778人〕 9月29日 中山尚子が描く宮沢賢治「土神と狐」 （155人）〔収容可能数170人〕 11月24日 おかあさんといっしょ※2回公演 （1,252人）〔収容可能数1572人〕 2月24日 綾小路きみまろ爆笑スーパーライブ 2019in 瑞浪 683人）〔収容可能数792人〕 ○ホワイエふれあいコンサート（4公演） 6月3日 朗読の昼下がり（市内8団体） 90人 9月22日 はじめまして、みずなみ。（うすむらさき） 113人 10月8日 ちいさい秋の風コンサート（市民交響楽団） 121人 12月2日 ほっかほかこんさーと（市民合唱団） 165人							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 アンケートを実施することにより、市民のニーズを把握し、事業選定の参考としました。							
【事業の成果と課題】 ・来場者アンケートをもとに、幅広いジャンルの公演を行うように努めましたが、市民のニーズは多種多様でありその選定には苦慮しています。 ▲アンケート結果では、来場者の高い満足度を得られていますが、公演によっては来場者数が低いものもあり、事前の周知方法の工夫が必要です。 ▲ホワイエふれあいコンサートは、観客との距離が近く、温かな雰囲気コンサートのコンサートとなり毎回好評を得ています。今後も市民活動の発表の場としてのニーズに応えていくよう努めます。							
決算の状況	予算額			決算見込額		執行率	
	12,305,000円			12,054,477円		98.0%	
▲・・・課題							
【評価委員からの意見と対応】 ○特になし							

方針と重点 の重点番号	①-Ⅰ～Ⅳ ③-Ⅱ	整 理 番 号	8	事業名	地区公民館運営経費	評価	A
【事業の概要】 健康で活気のある町を目指し、高齢化、過疎化に対応する活発な公民館活動を推進します。 また、町民一体となって活動し、まちづくりの拠点となることを目指します。それらを効果的に達成するため、また公民館のサービス向上と経費削減のためにそれぞれの地区のまちづくり推進組織に指定管理者として管理運営を委ねています。							
【事業の実績】 【公民館】 利用者数							

◇スポーツ文化課（文化振興）の事業評価

方 針	郷土愛を育む文化・芸術の振興
重 点	I まちぐるみで守る文化財とその活用 II 市民が歴史・文化・芸術に触れる機会の充実 III 文化施設の充実 IV 後継者育成、文化芸術活動団体の支援

方針と重点 の重点番号	I	整 理 番 号	1	事業名	埋蔵文化財発掘等調査事業	評価	A
【事業の概要】 遺跡範囲内での開発行為への対応を判断するため、試掘・確認調査等を実施します。また、過去の試掘調査で出土した遺物を整理します（国庫補助事業、補助率2分の1）。							
【事業の実績】 遺跡内における開発行為に伴い、試掘調査を4件（土岐天徳遺跡・山野内上平遺跡・釜戸宿遺跡・山野内遺跡）実施しました。 また、出土品の整理（195点）を実施しました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 過去の試掘調査の情報蓄積を生かし、開発事業等に円滑に対応します。							
【事業の成果と課題】 ・試掘調査については、本発掘調査の対象となる遺構は確認されず、開発行為が遺跡に与える影響は軽微であることが確認されました。また、試掘調査の結果（情報）が蓄積されており、調査実施箇所付近において開発行為が発生した場合には円滑に対応できることが見込まれます。							
決算の状況	予算額		決算見込額		執行率		
	2,776,000 円		2,618,906 円		94.4%		

【評価委員からの意見と対応】 ○特になし

方針と重点 の重点番号	I	整理 番号	2	事業名	保存資料等刊行事業	評価	A
【事業の概要】 市内各所より収集した役場記録等の古文書資料の整理・保存作業を実施します。 平成 30 年度事業完了に向け、古文書目録を発刊します。							
【事業の実績】 本事業を通じ収集した資料は 6,800 点に及び化石博物館別館で体系的に分類し収蔵しました。 上記、成果物として、瑞浪市史近代編資料集 第 6 巻と第 7 巻「瑞浪市所蔵古文書目録」を発刊しました(各 12 部)。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 事業は平成 30 年度で完了予定ですが、今後の受入方針など検討する必要があります。							
【事業の成果と課題】 ・資料集第 6 巻には「濃州小里記」、「老人物語」、「加勢日記留」の読み下し文を収録しました。資料集は市民図書館の郷土資料コーナーで閲覧することができます。 ・本事業は、古文書整理、その成果となる目録発刊を事業目標としており、平成 30 年度で目標を達成したために事業完了としました。 ▲今後も散発的に、資料の寄贈が発生する可能性が予想され、その際の受入方針などを検討する必要があります。							
決算の状況	予算額			決算見込額		執行率	
	1,444,000 円			1,213,029 円		84.0%	
▲・・・課題							
【評価委員からの意見と対応】 ○特になし							

方針と重点 の重点番号	III	整理 番号	3	事業名	(化石博物館) 定期研究報告発 行事業	評価	A
【事業の概要】 化石等をテーマとした研究論文を掲載した研究報告を発行します。							
【事業の実績】 10 論文を掲載した『瑞浪市化石博物館研究報告 第 45 号』を発刊 (320 部) しました。 研究報告は電子媒体として市ホームページを通じ広く成果を公開するとともに、国内外 の研究・教育機関 (約 300 機関) に交換雑誌として送付しました。 現在印刷媒体は、国際標準逐次刊行物 (ISSN)登録をしています。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 研究報告等を積極的に公開します。							
【事業の成果と課題】 ▲ 今後は、図書館等での利用をし易くするため、ホームページを通じて公開している電子 媒体も ISSN 登録を検討する必要があります。							
決算の状況	予算額			決算見込額		執行率	
	979,000 円			967,039 円		98.8%	
▲・・・課題							
【評価委員からの意見と対応】 ○特になし							

方針と重点 の重点番号	II	整理 番号	4	事業名	化石博物館定期展示会開催事業	評価	A
【事業の概要】 自然科学への興味・関心を高めるため、化石や地質等をテーマとした展示会を開催します。 特別展示「(仮称) 瑞浪北中学校工事現場から見つかった化石その2」(5月2日～28日) 企画展「不思議な! 深海生物化石」(7月19日～10月1日) 企画展「みずなみ化石ニュース2017」(11月3日～12月3日)							
【事業の実績】 企画展「ホロタイプこれくしょん」 7月14日～9月30日 (入館者: 7,613人) ミニ展示「半分青い。化石たち」 4月27日～9月30日 (入館者: 15,016人) ミニ展示「グルグル巻いた化石たち」 10月13日～1月27日 (入館者: 6,051人) ミニ展示「1700万円前の真珠化石～現代によみがえる輝き～」 3月9日～開催中 (入館者: 1,887人) ミニ展示期間中入館者: 22,954人							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 ホームページ上での公開を行います。							
【事業の成果と課題】 ・毎年、テーマを決め企画展を開催し、収蔵庫で保管されている化石等の展示・公開に努めています。本年度は、博物館が収蔵するホロタイプと呼ばれる分類学の基準となる世界で唯一指定できる最重要標本を展示しました。 ・本年度以降、企画展の開催が1回となったため、エントランスでミニ展示を行うこととし、「半分青い」にちなんだ「青い化石」の展示等を実施し好評を得ました。今後もテーマを決めて継続して実施したいと考えています。また、リーフレット等のホームページ上での公開については、バックナンバーも含めて公開し、興味のある方が自由に閲覧できるように努めました。							
決算の状況	予算額			決算見込額		執行率	
	485,000 円			456,909 円		94.2%	

【評価委員からの意見と対応】 ○特になし

方針と重点 の重点番号	II	整理 番号	5	事業名	(市之瀬廣太記念美術館) 定期 展示会開催事業	評価	A
【事業の概要】 郷土にゆかりのある芸術家を紹介する企画展を開催し、瑞浪の地で育まれた美術・芸術への関心を高めます。 稲津町在住、中山尚子氏の展覧会（企画展）を実施します。							
【事業の実績】 中山尚子原画展―土神と狐― 9月22日～10月21日（入館者：692人） 【参考：29年度：1企画／1,003人】							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 企画展の開催について、期間・方法を検討し実施します。							
【事業の成果と課題】 ・企画展初日にオープニングコンサートを開催（58人参加）したこともあり、目標（600人）を上回る入館者がありました。期間中アンケートの結果も好評で、来年は誰の展示会が開催されるのかという問合せもありました。 昨年度からは入館者が減少していますが、これは昨年度の開催期間を約3ヶ月としたこと、また国際陶磁器フェスティバルの協賛事業として開催したことによるものと考えられます。 なお、同テーマの朗読劇が同時期に文化センターで開催されたこともあり、地元の作家の作品や実績を広く広報する事ができました。							
決算の状況	予算額			決算見込額		執行率	
	710,000 円			676,980 円		95.4%	

【評価委員からの意見と対応】 ○特になし

方針と重点 の重点番号	II	整理 番号	6	事業名	(陶磁資料館) 定期展示会開催 事業	評価	A
【事業の概要】 伝統産業である焼き物や陶芸等に触れる機会を提供して興味・関心を高めるため、また収蔵資料の活用、研究成果公開等のために展覧会を開催します。 企画展 5 回、特別展 1 回を開催します。また特別展図録（300 部）を刊行します。							
【事業の実績】 以下の展覧会を開催しました。また、特別展に伴い図録『人間国宝 加藤孝造～村田允コレクション展』（300 冊）を刊行しました（○：企画展、◎：特別展）。 ○瑞浪陶芸協会作品展 究める（4 月 8 日～5 月 6 日）3,107 人 ○館蔵品 銅版絵付けの美（5 月 19 日～7 月 8 日）445 人 ○美濃・駄知のやきもの（7 月 21 日～9 月 17 日） 762 人 ◎人間国宝 加藤孝造～村田允コレクション展～（10 月 7 日～11 月 25 日）902 人 ○やきものの狛犬（12 月 8 日～2 月 11 日）675 人 ○友の会作品展（2 月 17 日～3 月 17 日）335 人 計 6,226 人： 参考：29 年度（5 企画、8,161 人）							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 展示会の内容の検討や、他施設との連携をはかります。							
【事業の成果と課題】 ・昨年度寄贈を受けた、加藤孝造氏の作品の公開のための特別展は寄贈者の方の出席のもとで開会式を開催でき、寄贈の功績や作品を広く P R できたと考えます。入館者も目標（800 人）を上回ることができました。 ・昨年度からは入館者が減少していますが、これは昨年度の特別展が国際陶磁器フェスティバルの協賛事業（スタンプラリー施設）として開催したことによるものと考えられます。 ▲陶磁資料館の入館者数も 29 年度から減少していることから、今後も他施設との協賛・連携等を図ることでイベントの効果的な広報と入館者の増加に努めます。							
決算の状況	予算額			決算見込額		執行率	
	1,606,000 円			1,485,833 円		92.6%	
▲・・・課題							
【評価委員からの意見と対応】 ○特になし							

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	整理 番号	7	事業名	(陶磁資料館) 定期刊行物発行 経費	評価	A
【事業の概要】 陶磁器・窯業史等に係る調査・研究成果等を掲載した研究紀要（隔年）ならびに瑞浪市の歴史・民俗・文化財等を紹介する歴史資料集（隔年）を刊行します。また、資料館事業報告・公開のため年報（隔年）を発行します。 歴史資料集第5集（500部）を刊行します。							
【事業の実績】 瑞浪市歴史資料集第5集（500部）を刊行しました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 他の学芸員や研究者等に投稿を働きかけます。 掲載論文の要約掲載及びホームページ上での論文公開を検討します。							
【事業の成果と課題】 ・歴史資料集には、瑞浪市における明治時代以降の瓦製造業や市内各所に奉納された瓦製の狛犬を紹介する論考（1編）、釜戸の足立岩次が幕末に製造に関わった函館焼に関する論考（2編）、また函館焼に関する古文書の読み下し文を掲載しました。未発表資料や文献を掲載できたことは大きな成果であると考えています。 ▲これからも歴史資料集、研究紀要の刊行は継続しますが、近年は投稿者が減少傾向にあることから他の学芸員や研究者等に投稿を働きかけていきます。また、一般の方にも掲載内容が一目で分かるように、引き続きホームページ上での要約掲載及び論文公開を検討します。							
決算の状況	予算額			決算見込額		執行率	
	448,000 円			411,600 円		91.9%	
▲・・・課題							
【評価委員からの意見と対応】 ○特になし							

◇スポーツ文化課（スポーツ推進）の事業評価

方 針	一人一スポーツの推進
重 点	I スポーツの場の充実 II スポーツの機会の充実と魅力の発信 III スポーツ推進委員の活用 IV 体育協会・スポーツ少年団、クラブとの連携

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	整 理 番 号	8	事業名	トップアスリート交流事業	評価	A
【事業の概要】 子どもたちとトップアスリートとの交流を図ることで、子どもたちに夢を与える事業として、スポーツ教室・講演等の交流事業を年1回開催します。							
【事業の実績】 ロンドンオリンピック女子団体銀メダリストの平野早矢香氏を迎えて講演と実技教室を開催。（12月16日、参加者 講演180名、実技教室（小・中・高校生対象）100名）							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 平成30年度は卓球。平成31年度は陸上競技で実施する予定です。							
【事業の成果と課題】 ・最近の卓球選手の目立つ活躍ぶりから、非常に関心が高く、多くの方に参加いただきました。内容も非常にフレンドリーかつ上手な指導で、初めてラケットを持った参加者もいましたが、非常に楽しい体験になっていました。 ▲課題として、種目の選定を今後どうしていくかということがあります。早めに長期的な種目選定をしていくべきという意見から、来年度 陸上、再来年度はバスケットを実施する予定ですが、あまり早く決めすぎてしまうと、タイムリーな種目ができなくなる可能性があり、熟慮を要します。							
決算の状況	予算額			決算見込額		執行率	
	955,000 円			754,550 円		79.1%	

▲・・・課題

【評価委員からの意見と対応】 ○特になし

方針と重点 の重点番号	I	整理 番号	9	事業名	市民競技場整備事業	評価	A
【事業の概要】 老朽化した市民競技場の競技面の改修及びトイレのバリアフリー化と駐車場の整備を行います。							
【事業の実績】 市民競技場競技面の改修とトイレのバリアフリー化、駐車場の整備を行いました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 外壁塗装に含まれるアスベストの撤去に対応します。							
【事業の成果と課題】 ・改修工事中、適切なアスベスト撤去を行いました。 ・劣化していた競技場の改修等により、利便性の向上と、利用頻度の向上が見込まれます。 ▲本部席等の改修が未着手のため、今後実施する必要があります。							
決算の状況	予算額			決算見込額		執行率	
	216,000,000 円			210,918,560 円		97.7%	

▲・・・課題

【評価委員からの意見と対応】 ○特になし

6 教育委員会点検評価委員会のまとめ

令和元年5月24日から7月3日の間で、計3回の点検評価委員会を開催し、平成30年度の教育委員会の事業について、担当課からの説明を受けた後、審査をおこないました。

この点検評価は、法律に義務づけられているもので、各担当課の評価について客観性を確保するため学識経験を有する者の知見の活用を図ることが求められており、点検評価委員としても気の引き締まる思いでの審査となりました。

委員はそれぞれの立場から質疑や意見を活発に行い、この点検評価報告書をより公正で確かなものにするよう努めました。同時に委員にとっても、これまで知ることのなかった教育委員会の事業について詳しく知るよい機会となりました。

総評として、平成30年度に各課で行われた事業に関しては、前年度実施した点検評価結果を活かし、適切に計画、実施されていたと評価いたしました。

今回、「A」評価となった事業であっても、「A」評価に甘んずることなく、更なる事業の充実に努めていただきたいと思います。また、今回、「A」評価とならなかった事業については、今回の評価委員の意見を参考に「A」評価に近づけるよう努めていただきたいと思います。

人は生涯を通じて、学び続けます。市民がいきいきと学び、心豊かに暮らしていくために、この結果を今後の教育委員会の事業に反映していただくことを期待します。

【瑞浪市教育委員会点検評価委員】

任期は平成30年4月26日から令和2年4月25日

役職名	氏 名（敬称略）	備 考
委員長	厚 見 正 紀	瑞浪市教育振興基本計画策定委員長
委 員	水 野 昌 代	元瑞浪市教育委員
委 員	安 藤 隆 宏	瑞浪市社会教育委員
委 員	※ 永 井 研	瑞浪北中学校評議員
委 員	※ 伊 藤 智香子	瑞浪市PTA連合会母親委員長
委 員	三 戸 憲 和	瑞浪市文化財審議会委員

※印の委員は、前任者の退任による補欠委員につき、任期は前任者の残任期間（平成31年4月24日から令和2年4月25日）。

【点検評価委員会開催状況】

回	開 催 日	会 場
第1回	令和元年5月24日（金）	瑞浪市役所4階会議室
第2回	令和元年5月30日（木）	瑞浪市役所4階会議室
第3回	令和元年7月3日（水）	瑞浪市役所4階会議室